9月定例会

＼14人の議員が一般質問／

ココがききたい Q&A

二次元コードからスマホで
質問の内容が見られます！

伊能（いのう） 敏雄（としお） 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

稼ぐ行政を目指す提案を市長へ

Q. 空き施設・スペースの民間貸与を図るべきでは。

A. 香取市では、旧学校施設等を民間事業者に貸し出し、その有効活用を図っています。提案のありました庁舎等の一部を民間事業者の事務所として、長期的かつ安定的に貸し付けるには、慎重かつ多角的な研究が必要であると考えています。

Q. ネーミングライツ導入検討はあるか。また想定される該当施設はどういったものか。

A. 現時点でネーミングライツ活用の具体的な検討は行っていません。ネーミングライツ対象施設としては、スポーツ施設、文化施設、観光施設などがあります。

香取市の環境や景観を守る

Q. 市内河川の汚染度合いは。

A. 香取市が令和7年度に行った5河川6地点のBOD（生物化学的酸素要求量）の数値は、おおむね環境基準を達成していますが、黒部川の数値が生活環境基準を超過しています。

Q. 汚染の基本的解決策は。

A. 現在、河川の水質改善に向けて、水質調査や環境保全の啓発を行っていますが、水質の改善には人為的影響を抑制する対策を併せて推進する必要があります。

意見　3月議会でも取り上げて制度の改正を求めた策が図られてない。改めて合併浄化槽補助制度の改正を求める。

Q. 重伝建地区小野川周辺の常態化するノボリ。歩行者天国開催時のキッチンカーは町並みには合わないのではないか。

A. のぼり旗は、営業活動等に必要な広告物である一方、設置場所等によっては景観を阻害する可能性があり、景観との調和を十分に図る必要があります。キッチンカーは、出店場所を景観への影響が少ない場所に配置するなどの対応を行っていますが、今後も更なる対策を検討します。

意見　一部店舗の基本ルールを順守しないノボリ。ランチ難民対策はキッチンカーではなく周辺飲食店への誘導を図るべき。町並みイメージを損なう。市は景観条例などを設定した上、関係業者・団体等の協議の場を設けるべき。

2028年は伊能忠敬翁没後210年

Q. 佐原公園は顕彰公園として再整備すべきではないか。

A. 現在、佐原公園の整備計画予定はありませんが、伊能忠敬翁の偉業を伝える重要な公園の一つですので、今後、公園の施設更新等を検討する際には、参考とします。

Q. 2030年電子教科書採用は、どう進めるのか。

A. デジタル教科書の利点や、懸念すべき点を整理し、次期学習指導要領を確認しながら、教科の特性、子どもの特性、通信環境など様々な視点から検証し、採択に向けた準備を進めていきます。

注：通告内容の一部が質問時間不足から次回で再度取り組む予定です。

成毛（なるけ） 伸吉（のぶよし） 議員



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

黒部川左岸第三工区 土地改良基盤整備 早期完成を

Q. 黒部川左岸第三工区の進捗状況及び今後の予定は。

A. 事業の進捗状況を千葉県に確認したところ、令和8年度は、測量・埋蔵文化財調査・土質調査・換地・ほ場整備実施設計業務を行っており、このまま順調に進めば、令和10年度から区画整理等の工事に入り、令和13年度に全ての事業が完了する予定となっているとのことです。

Q. 農業用水の取水時期を早めることはできないか。

A. 川からの取水は水利権が必要で、取水期間が決められているため、取水時期を早めるのは難しい状況です。また、複数の農家から農業用水の取水開始時期を前倒ししてほしいという声はお聞きしています。

意見　基盤整備は生産性の向上や食料安全保障、防災減災など多角的に見ても重要性が高いので更なる支援が必要と考える。

耕畜連携の充実と更なる推進を

Q. 耕畜連携体制を更に推進充実させるための市の考えは。

A. 香取市では、奨励金を交付してホールクロップサイレージ（WCS）用稲の作付けを推進しています。令和8年度は、WCS用稲の10アール当たりの交付単価を、5ヘクタール以上の団地化へは8千円、20ヘクタール以上の団地化へは1万円に増額しています。また耕種・畜産農家の高齢化、後継者不足に対応するため、新規就農者支援や企業参入を推進するなど担い手確保を強化し、耕畜連携のメリットを享受できる安定的な体制を構築していきたいと考えています。

意見　耕畜連携は持続可能な社会の実現と資源の最適化や循環を推進する上で重要な取り組みであると考える。これからもきめ細かな支援をお願いしたい。

消防本部山田分遣所の現状は

Q. 山田分遣所の雨漏り等による老朽化の現状を把握しているか、また建て替えは考えているか。

A. 消防本部に確認したところ、山田分遣所の庁舎は、経年による施設劣化状況を踏まえ、外壁の改修や雨漏りの修繕などを順次行っているとのことです。今後は仮眠室の個室化等の改修も計画していることから、現段階では建て替えは検討していないとのことです。

保育園・こども園の副食費助成を

Q. 保育料の減免措置や副食費の無償化に対する市の考えは。

A. 香取市では、3歳未満児の保育料については、就学前児童が2人以上同時入所している場合に、上から数えて第2子を半額、第3子以降を無料とする軽減措置を行っています。3歳以上児の副食費の無償化については、国の方針や制度変更の動向を踏まえつつ、財政状況も考慮し慎重に判断していきます。

意見　0から2歳児期は共働き世帯でも育休明けなどで世帯所得が不安定になりやすい。副食費の助成は費用の負担感が大きい時期の家計を支えるために必要であり、子育て支援の更なる拡充を要望する。